

2022年8月発行

第11号

# 大和川 ジャーナル

寄稿

「流域治水」を本格的に実践  
国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所

奈良県

天理ダム(天理市)

# 雨水浸透阻害行為について

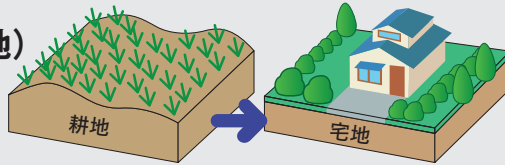
奈良県知事等の許可が必要です!

- 大和川流域内の土地で行う1000㎡以上の雨水浸透阻害行為(土地の締固めや開発等により雨水がしみ込みにくくなる行為)は奈良県知事等の許可が必要です。
- 許可にあたっては、技術基準に従った**雨水貯留浸透施設**の設置が必要です。

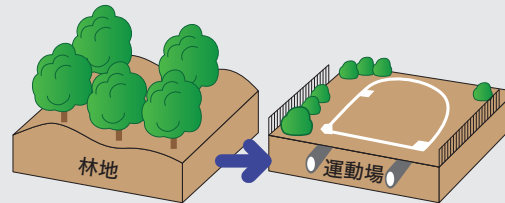
## 対象となる行為(雨水浸透阻害行為)の例

県等の審査窓口との事前相談が必要です!

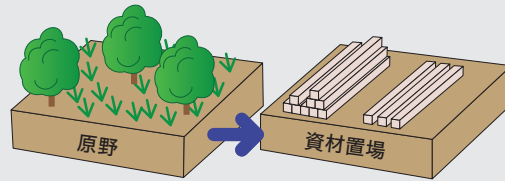
- 田畑(耕地)  
→宅地



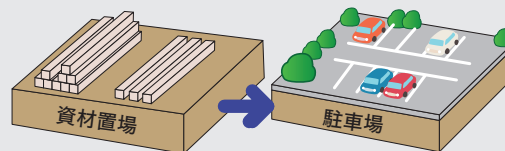
- 林地  
→運動場



- 原野  
→資材置場(未舗装)



- 資材置場(未舗装)  
→駐車場



※許可に伴い設置された**雨水貯留浸透施設**の機能を阻害するおそれのある行為も、奈良県知事等の許可が必要です。

### 許可の申請窓口(奈良県または奈良市で受け付けます。)

#### 奈良市の大和川流域内での雨水浸透阻害行為

開発地	申請先	許可の申請窓口	連絡先 (TEL)
奈良市内	奈良市長	奈良市建設部河川耕地課	0742-34-4816

奈良市で行う雨水浸透阻害行為の許可は奈良市長が行います。

詳細: 奈良市河川耕地課HP URL: <https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/122/131229.html>

#### 奈良市以外の市町村の大和川流域内での雨水浸透阻害行為

開発地	申請先	許可の申請窓口	連絡先 (TEL)
奈良市以外	奈良県知事	奈良県県土マネジメント部河川整備課	0742-27-7507

奈良市以外の市町村で行う雨水浸透阻害行為の許可は奈良県知事が行います。

詳細: 奈良県河川整備課HP URL: <https://www.pref.nara.jp/59856.htm>

「大和川流域における総合治水の推進に関する条例」を改正しました  
大和川が特定都市河川に指定されたことを受けて、「大和川流域における総合治水の推進に関する条例」を改正しました。これまで条例では防災調整池の設置対象として「特定開発行為」を定めておりましたが、今後は「特定都市河川浸水被害対策法」に基づき1,000㎡以上の「雨水浸透阻害行為」を対象に雨水貯留浸透施設の設置が必要になります。

奈良県  
平成緊急内水対策事業  
の流れ

【重点地区の選定】

優先的に内水対策を実施し、  
浸水被害の解消を目指す重点  
地区の決定

重点地区抽出の考え方

- 10年確率規模によるシミュレーションによる内水被害のおそれのある地区
- 浸水常襲地域に該当または平成29年台風21号による内水被害の発生地区
- 貯留施設による対策が有効な地区

【事業箇所の決定】

貯留施設候補箇所の選定

- 有識者による適地選考委員会で審議

市町で地元調整、  
予備設計を実施

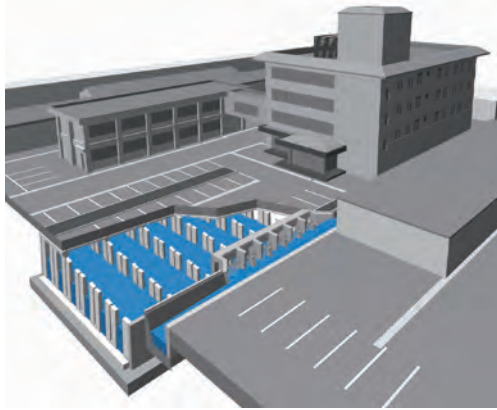
貯留施設事業箇所の決定

- 有識者による適地選考委員会に報告
- 県・市町が協定を締結

【事業実施】

詳細設計、用地買収、工事

供用開始



完成イメージ ※今後変更となる可能性あり  
(高田土木事務所駐車場地下貯留施設) (大和高田市)



工事状況(葛下流域貯留施設) (王寺町)



工事状況(今住流域貯留施設) (御所市)

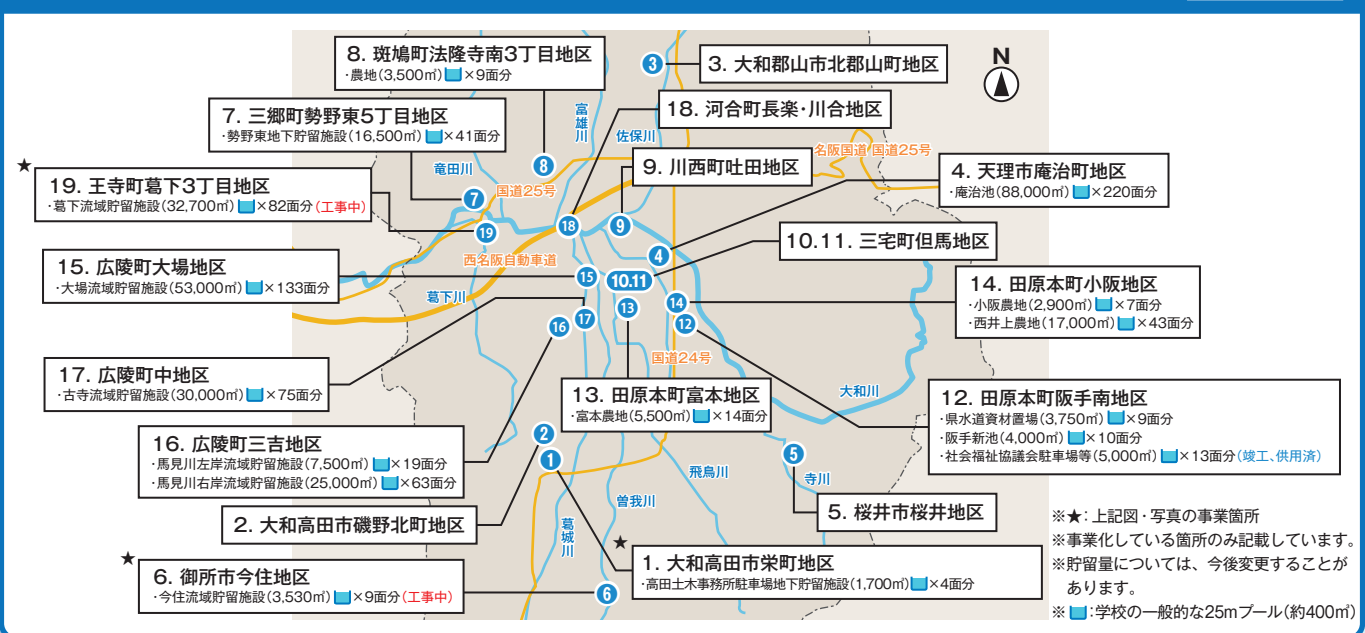
「奈良県平成緊急内水対策事業」を推進しています

奈良県では平成29年台風21号により、奈良盆地を中心として床上浸水98棟、床下浸水301棟の浸水被害が発生しました。そのため、内水被害の解消に向け、大和川流域内における内水被害のおそれ等がある地区の適地にて貯留施設等を整備していく「奈良県平成緊急内水対策事業」を、平成30年5月より、流域自治体と連携して進めています。

令和4年6月現在、13市町の19重点地区内、16箇所にて事業化しており、高田土木事務所駐車場地下貯留施設(大和高田市栄町地区)等の事業箇所にて今年度工事着手予定であり、今住流域貯留施設(御所市今住地区)及び葛下流域貯留施設(王寺町葛下3丁目地区)の事業箇所にて現在工事が進められています。

奈良県平成緊急内水対策事業 重点地区・事業箇所 位置図

令和4年6月現在



# ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策

## 〔河川整備〕

■ 河川整備(河道掘削、遊水地整備等)の実施



河道掘削(藤井地区)



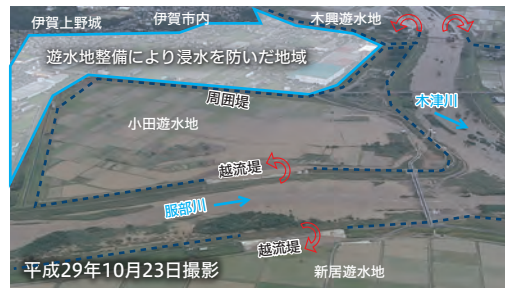
樹木伐採(久度地区)



## ○ 遊水地(保田地区)



## ○ 遊水地のしくみと効果

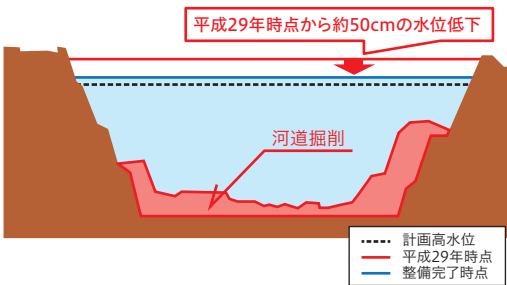


洪水時、堤防から川の水があふれ、浸水被害が発生します。

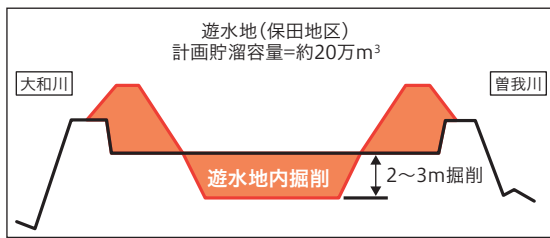
洪水を遊水地に貯めることで、堤防から川の水があふれにくくなります。

上野遊水地(三重県)では、平成29年台風第21号において、木津川及び服部川の水を約600万 $m^3$ 貯留させたことで、伊賀市内の家屋浸水を防ぐことができました。

大和川27.0k(葛下川合流点)



遊水地(保田地区)



遊水地内を2~3m掘削することにより、約20万 $m^3$ の貯留容量を確保します。(一般的な25mプール約500個分の水が貯められます。)

藤井地区の河道掘削と大和川遊水地の整備が完成すると、平成29年台風21号と同規模の洪水が発生した場合、葛下川合流点の大和川の水位を約50cm低下させることが出来ます。

「流域治水」を本格的に実践していきます。国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所寄稿

令和3年12月に流域治水関連法の施行後、全国初となる特定都市河川に奈良県内の大和川等18河川が指定され、大和川では特定都市河川流域における総合的な浸水被害対策を推進する「流域水害対策計画」を今年5月に策定しました。

大和川河川事務所では、この「流域水害対策計画」や昨年度策定した「大和川流域治水プロジェクト」を踏まえ、治水対策と地域のまちづくりの連携等によるハード・ソフト一体となった「流域治水」を県、流域市町村、民間事業者等あらゆる関係者と協働して本格的に実践していきます。

## 【既存ダムの洪水調節機能強化】

- ・既存ダム(初瀬ダム、天理ダム、白川ダム、岩井川ダム、大門ダム)における事前放流の実施

## 【下水道整備】

- ・雨水管渠整備、既設ポンプ施設の維持・更新
- ・内水ポンプ施設の運転操作ルール策定

## 【流域対策】

- ・既存ため池の放流口の改修や事前放流によりため池の水位を下げ雨水を一時的に貯留させる等、ため池の治水利用を推進
- ・水田の排水口に調整板を設置し、排水量を調整する水田貯留を推進
- ・浸水常襲地区等の課題である内水浸水被害の解消に向け、『奈良県平成緊急内水対策事業』による雨水貯留施設等の整備を推進
- ・民間事業者等による雨水貯留浸透施設の整備も見込んだ今後5年間の目標対策量を新たに上乗せし、対策を一層推進

ため池の治水利用(大和郡山市鬮堀池)



水田貯留(田原本町阪手地区)



## ②被害対象を減少させるための対策

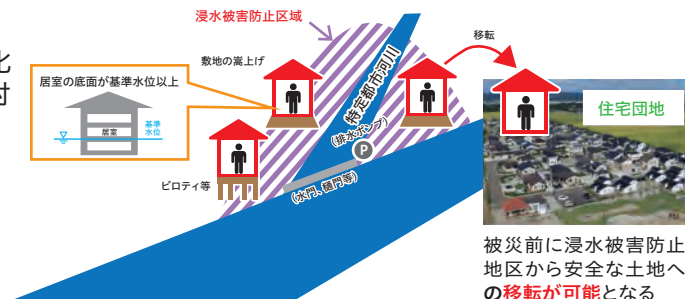
### 【貯留機能保全区域の指定】

- ・都市浸水想定区域や条例で指定する『市街化編入抑制区域』等を考慮した上で区域の指定を検討

### 【浸水被害防止区域の指定】

- ・都市浸水想定区域及び水害リスクマップ、『市街化編入抑制区域』等を考慮した上で区域の指定を検討

- 区域内の土地に居住する場合にも命を守る
- 区域内の土地への居住を避ける
- 被災前に安全な土地への移転を促す



被災前に浸水被害防止地区から安全な土地への移転が可能となる

## ③被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

- ・減災対策協議会等による関係機関との連携強化や市町村等とのホットラインによる河川情報の共有
- ・洪水ハザードマップや内水ハザードマップの作成・周知
- ・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進
- ・小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難訓練の徹底



ワークショップ形式

小中学校の防災教育

防災教育

問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 工務課

〒583-0001 大阪府柏原市大正2-10-8 電話 072-971-1381

ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/index.php>

公式twitter [https://twitter.com/mlit\\_yamato](https://twitter.com/mlit_yamato)





大門ダム

# 大門ダム

## 信貴山の眺め

三郷町(奈良交通「信貴大橋」バス停から徒歩3分)

この写真は大門ダムから撮影したものです。

大門ダムは「朝護孫子寺」等、豊かな歴史と自然に囲まれた県内有数の観光地「信貴山」に立地しています。大門ダムは、1100年代に建設されたと言い伝えのある旧大門池の機能を受け継いでおり、実盛川の洪水調節及び河川維持用水の補給機能を併せ持っています。

バスが走行している橋の奥にある橋は開運橋とい、昭和6年に架けられた全長106mの「上路カンチレバー橋」という構造の橋であり、日本に現存する同構造の橋の中で最古のものとなります。平成19年には国の登録有形文化財に指定されました。



今号の表紙について

# 天理ダム

天理市(天理市コミュニティバス「天理ダム」バス停付近)

今号の表紙の写真は天理ダムの堤体から下流側を撮影したものとなります。天理ダムは布留川の洪水調節、河川維持用水の補給及び上水道用水の取水機能を持っています。

建屋は平成30年度に完成した貯水池の堆砂の影響を受けない洪水調節放流設備のゲートが設置されています。また、流路にある壁のような構造物は減勢工といい、ダムの放流水の勢いを弱めて、下流に被害が出ないようにするための構造物です。なお、流れ出ている水は河川維持用水です。



# 奈良県河川情報システムについて

## きめ細かい情報を追加提供

きめ細かい水位情報やリアルタイムの河川画像を提供し、**早めの避難行動に活用頂くため**、「**危機管理型水位計**」や「**簡易型河川監視カメラ**」の設置を進め、設置が完了しました。  
 危機管理型水位計を68箇所、簡易型河川監視カメラを69箇所を設置しました。  
 奈良県河川情報システム(ホームページ)からご覧頂けます。

**設置状況**



太陽光電池により充電し、雨天時に水位観測します

堤防の高さまであと〇〇 [cm] を表示してします

水位グラフ



【危機管理型水位計】

夜でも川の状況がわかります



拡大表示

画像クリック時



【簡易型河川監視カメラ】

## 河川情報システムのアラームメール

お住まいの地域で気象警報・注意報が発令された際や、強い雨の降っている箇所や水位が上昇した場合に、メールで情報配信を行っています。早めの避難行動をとるためにもぜひ登録をお願いします。

詳しくは、QRコードを読み取るか、Webサイトをご覧ください。

奈良県河川情報システムHP <http://www.kasen.pref.nara.jp/gispub/>  
 アラームメール(スマホ用) [http://www.kasen.pref.nara.jp/amailpub\\_sp/](http://www.kasen.pref.nara.jp/amailpub_sp/)  
 アラームメール(携帯電話用) [http://www.kasen.pref.nara.jp/amailpub\\_fp/](http://www.kasen.pref.nara.jp/amailpub_fp/)



システムHP



アラームメール(スマホ)

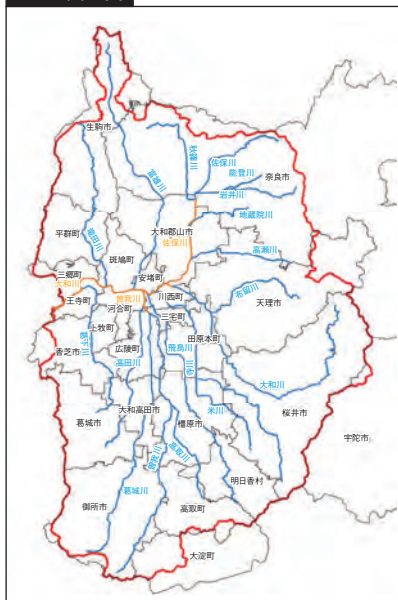


アラームメール(携帯)

正 4頁地図



正 3頁地図



『大和川ジャーナル第10号』(2022年2月発行)の訂正とお詫び

『大和川ジャーナル第10号』(2022年2月発行)において、3頁及び4頁の地図内の自治体名に誤りがございました。正しくは、左記の地図となります。

「ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。」

新型コロナウイルス感染症が収束しない状況においても、災害はいつ発生するかわかりません。

災害発生または発生するおそれがある時は、**危険な場所から、安全な場所へ避難することが原則**です。

知っていただきたいコロナ禍における避難のポイント

- ご自身の命を守ることが最優先です。自治体等からの情報を参考に、災害の危険が迫ったら、危険な場所から**迷わずに避難**してください。気象情報や避難情報の発令状況は、「奈良県防災ポータル」から確認できます。
- 避難とは「難」を「避」けることです。小中学校や公民館等の避難場所への避難に加え、安全な場所にある親戚や知人宅、ホテル等への避難も考えてみましょう。自宅で身の安全を確保できる場合は、自宅にとどまることも選択肢です。事前に避難先を確認し、相談しておきましょう。
- マスク・体温計・手指消毒剤・スリッパ・タオル・ゴミ袋等、感染症対策に必要なものはできるだけ各自で用意し、携行してください。
- マスクの着用や手洗い・換気の徹底、隣の人との間隔の確保等、**避難所で行われる感染症対策へのご協力をお願いします。**
- 激しい雨の時には移動すること自体に危険が伴います。「**自らの命は自らが守る**」意識を持って、普段から準備し、明るいうちの早めの避難行動を心がけましょう。

●避難情報(警戒レベル)の一覧

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保!	緊急安全確保
〜(警戒レベル4までに必ず避難!)			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

※令和3年5月から避難情報の名称等が変わっています。

詳しくは **奈良県防災統括室**  
<https://www.pref.nara.jp/55577.htm>

なら県政出前トーク

なら県政出前トークは、県が重点的に取り組む施策等について、県民等の皆さまからの希望に応じて、職員がお伺いして説明、意見交換を行うものです。河川整備課では、以下2つのテーマをご用意しております。

奈良県の治水対策

- 奈良の河川の歴史、今日の河川が抱える課題等、総合治水に関する取組や浸水地域における減災対策

水害に備えて

- 水害時に役立つ水位、雨量及び気象情報の取得方法や備え、水難事故発生防止の取組み等

申し込み条件や方法については、[以下URLよりご確認ください。](#)



令和2年度実施の様子

説明内容(水害について)

- I 水害の状況
- II 水害リスクの確認
- III 防災情報と避難行動
- IV 河川情報の収集
- V 避難に際しての注意

お問い合わせ先 **奈良県広報広聴課** TEL.0742-27-8327 <https://www.pref.nara.jp/43272.htm>

ストップ水難事故!

～川は急に増水する等、危険な一面があります～

川で遊ぶときの鉄則

- 天気や川の情報を常にチェックする
- ライフジャケット等を準備する
- 看板や地元の人から川の情報を得る
- 川の様子をよく見る



付近で雨が降っていなくてもこんな時は危険

- 大雨注意報、警報が発表された
- 上流の空に雨雲や積乱雲が見えた
- 水かさが増した
- 水が濁った
- 落ち葉や流木、ゴミが流れてきた
- 山鳴りがした

**すぐ避難**

天気予報とあわせて  
確認しましょう

奈良県河川情報システム  
雨量、河川水位、河川監視カメラの画像をリアルタイムで確認できます。

